

平荘湖周回コースへスタートする各部の選手たち



東日本大震災募金呼びかけ

春風受け 湖岸力走

早春の湖畔を駆ける「第32回平荘湖駅伝競走大会」(兵庫県走友会主催、神戸新聞社後援)は20日、加古川市



1部で優勝ゴールをきるBacchusの高木将臣選手

平荘町の平荘湖周回コース(6区間28・8キロ)で行われた。大会は1チーム6人で

第32回平荘湖駅伝

優勝 1部 Bacchus
2部 高砂市役所職員組合(A)

前回の成績や性別などで5部門に編成され、毎年、大勢の市民ランナーが集う。今年もランニングブームを背景に、各地から5部門に239チームが参加した。出場選手をはじめ、応援する家族や仲間、大会関係者ら2000人以上が集まった。春のやわらかい日差しが降り注ぐ中、ランナーたちは1周4・8キロのコースを力走して、次々とたすきをつないでいた。

また、主催者では、東日本大震災の被災者救援募金箱を大会本部などに設置し、ランナーらに協力を呼び掛けた。

実力最上位の1部は、Bacchusが1時間32分15秒で優勝を果たした。2位以下、6位までは、住友ゴム加古川(A)、神戸PIJC、佐用RC(A)、三木RC、森野軍団(A)の順。

2部は、高砂市役所職員組合(A)が1時間51分15秒で栄冠に輝き、3部は尼崎走ろう会(A)が1時間56分52秒で制した。走者の合計年齢が330歳以上の4部は、明石大橋AC(B)が1時間51分05秒で優勝を飾った。女子のみで編成する5部は、森野軍団(B)が1時間50分08秒で頂点に立った。

湖からの風をうけて懸命に走るランナーたち



発行所
神戸新聞社
神戸市中央区東川崎町
1-5-7
郵便番号 650-8571
神戸新聞ホームページ
<http://www.kobe-np.co.jp/>

めぐる君
号外



神戸新聞
モバイル



地域の話題を速報中。
購読のお申し込み
0120-16-8349